

令和3年6月29日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6  
一般財団法人日本環境衛生センター  
理事長 南川 秀樹

令和3年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）に係る参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、弊所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査を実施しております。

本年度の調査に関しては、基本精度管理調査として、模擬排水試料中の一般項目等（COD、BOD、TOC、全燐、ふっ素及びその化合物、及びほう素及びその化合物の6項目）を対象とします。高等精度管理調査（1）として、模擬水質試料中のノニルフェノール、および直鎖アルキルベンゼンスルホン酸（LAS）を対象とします。また、高等精度管理調査（2）として、模擬大気試料（模擬PM2.5粒子）中の無機元素（詳細項目としてニッケル（Ni）、亜鉛（Zn）、鉄（Fe）、鉛（Pb）、アルミニウム（Al）、及びカルシウム（Ca）の6項目、参照項目としてマンガン（Mn）、銅（Cu）、ナトリウム（Na）、カリウム（K）の4項目）を対象とします。本調査に関する詳細は、本調査のウェブサイト(<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>)をご覧ください。

なお、以前お送りしたアンケートからCODが追加となりましたので、アンケートで不参加のお答えを頂いた機関にも本状をお送りしております。

今年度調査に基づく参加申込要領を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件担当

環境事業第二部 佐々木、梶

電話 044-287-0766



令和3年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領  
(民間、大学、独立行政法人等)

1. 調査試料

区分	名称	容器 (内容量)	個数	備考
共通試料 1 - 1	模擬排水試料 (COD、BOD、TOC分析用)	ガラス瓶 (1 L)	1	液体
	N-アリルチオ尿素 (BODにおける硝化抑制用)	ガラス製バイアル (約500 mg)	1	粉体
共通試料 1 - 2	模擬排水試料 (全燐、ふっ素、ほう素分析用)	ポリエチレン製瓶 (100 mL) <sup>注)</sup>	1	液体
共通試料 2	模擬水質試料 (ノニルフェノール等分析用)	アンプル (約5 mL)	2	液体
共通試料 3	模擬大気試料 (模擬PM2.5粒子) (無機元素分析用)	ガラス製瓶 (約250 mg)	1	粉体

注) 分析前に10倍希釈する。

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 模擬排水試料(一般項目等分析用)

試料中の一般項目等6項目(COD、BOD、TOC、全燐、ふっ素及びその化合物、及びほう素及びその化合物)を測定対象とする。

参加機関は上記6項目の中から最低1項目以上を選択し、分析を行う。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬水質試料(ノニルフェノール等分析用)

試料中のノニルフェノール、およびLASの2項目を測定対象(詳細項目)とする。

参加機関は上記2項目の中から最低1項目以上を選択し、分析を行う。

b. 模擬大気試料(模擬PM2.5粒子)(無機元素分析用)

試料中のニッケル(Ni)、亜鉛(Zn)、鉄(Fe)、鉛(Pb)、アルミニウム(Al)、及びカルシウム(Ca)の6項目を測定対象(詳細項目)とする。

また、マンガン(Mn)、銅(Cu)、ナトリウム(Na)及びカリウム(K)の4項目を参照項目として測定対象とする(参照項目の分析条件等については、詳細な調査は実施せず、分析結果の報告のみとする)。

参加機関は上記計10項目の中から最低1項目以上を選択し、分析を行う。

3. 分析方法

(1) 模擬排水試料(一般項目等分析用)

「排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法」(昭和49年環境庁告示第64号)に規定されている方法により分析する。ただし、TOCについては、JIS K 0102-1(工業用水・工場排水試験方法-第1部:一般理化学試験方法)又はJIS K 0102(工場排水試験方法) <sup>注)</sup> に定める方法により分析する。

注) TOCの分析方法について:2021年5月20日にJIS K 0102-1(工業用水・工場排水試験方法-第1部:一般理化学試験方法)が制定されました。今回の調査項目では、COD、BOD、TOCの内容を含みます。COD、BODの分析方法である環境庁告示64号ではJIS K 0102が参照されております。一方で、TOCの分析方法は環境庁告示64号に規定されておられません。JIS K 0102-1が制定されて間もないこと、又、JIS K 0102が廃止されていないことより、TOCについてはJIS K 0102又はJIS K 0102-1に定める方法を分析方法にいたします。

## (2) 模擬水質試料（ノニルフェノール等分析用）

環境庁告示第59号(最終改定平成31年)付表11、付表12、あるいは上記に加えて同等以上の（例えば、MS/MSやTOF-MSを用いる）方法により分析してもよい。

## (3) 模擬大気試料（模擬PM2.5粒子）（無機元素分析用）

「大気中微小粒子状物質（PM2.5）成分測定マニュアル」の「無機元素測定法 第2版（2019年5月）」に定める方法（ICP-MS法）により分析する。試験液の分析は他の方法（ICP-AES等）も可とするが、試験液の調製操作は上記方法に従うこと。

## 4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

### (1) 配布時期（予定）

8月下旬を予定（詳細は後日、ウェブサイト上に掲載）  
配布日の詳細が固まり次第、ウェブサイトでお知らせ致します。

### (2) 報告期限

10月8日（金）

ただし、分析結果報告の方法（ウェブサイト又は用紙による報告）により報告期限が異なります。用紙による報告の場合、10月1日（金）となります。

### (3) 調査結果の報告（公開等）

全体の中間報告は12月下旬頃を予定しています。

分析結果を報告いただいた機関には、翌年度（時期未定、令和4年6月頃）に「調査結果報告書（本編、資料編）」（環境省 編）を送付予定としています。

## 5. 申込方法

申し込み方法には「ウェブサイトによる方法」、「郵送による方法」があります。

「ウェブサイトによる方法」は、ウェブサイト

「<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択します。開いたページの<調査参加申込の方>にある「参加申込シート」から申込ファイルをダウンロードし、内容を記述します。「調査参加申込登録」ボタンから参加申込アップロードフォームにて、申込ファイルを選択・アップロードします。

「参加申込シート」をアップロードすると、申込完了となり、後日、調査参加機関ログイン用の「機関コード」「パスワード」が指定メールアドレスへ送られます。「機関コード」を保有していない新規参加機関につきましては下記申込先へお問い合わせください。機関コードを発行いたします。

「郵送による方法」は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記(2)申込先へ送付ください。「郵送による方法」でお申し込み頂いた機関には、試料発送時に「機関コード」、「パスワード」を併せてお送りしますので、分析結果報告等はウェブサイトからの報告も可能です。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦ください。また、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

- (1) 申込期限 令和3年7月30日(金) (必着)
- (2) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6  
 一般財団法人日本環境衛生センター  
 環境事業第二部 佐々木、梶  
 TEL 044-287-0766  
 seidokanri0@jesc.or.jp

## 6. 参加の区分及び費用 (税込み)

区分		費用	
共通試料1		30,000円	共通試料1～3合わせて 85,000円
共通試料2		30,000円	
共通試料3		30,000円	
分析結果の 報告の方法	ウェブサイト にて報告	増額なし	
	用紙にて 報告	共通試料毎に 各3,000円増額	

## 7. その他

### (1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内、国外の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

### (2) 分析結果の公表

各種の統計量の算出根拠に該当する報告値、分析条件別の回答数、あるいは各種の文章表現等につきましては、機関名は伏せた上で公表します。参加申込をいただいた機関におかれましては、その旨をご了承ください。

Zスコアの記載をご希望の機関は、測定結果の入力時にZスコア希望欄へのご記入をお願いいたします。機関名を伏せた上でZスコアを結果報告書(資料編)に併記いたします。

### (3) 極端な分析結果

極端な分析結果(外れ値等)を報告された場合には、原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

### (4) ウェブサイトによる分析結果の報告

環境測定分析統一精度管理調査ウェブサイトでは本調査に関する情報等を閲覧することができます(<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>)。

参加機関は、当ウェブサイトから分析結果報告を行ってください。用紙による報告は必要ありません。ウェブサイトによる報告が難しい機関のみ用紙による報告とします。用紙による報告期限は、ウェブサイトによる報告期限に比べて一週間程度早くなります。

なお、今年度からウェブサイトによる分析結果の報告方法が変更されていますので、ご注意ください。

#### **(5) 試料の追加請求**

原則として、1分析機関につき事前にお申込みいただいた1セットの試料を送付しています。ただし、募集締め切り後に残余の試料がある場合には、実費相当（+送料）で送付いたします。追加試料をご希望の場合は締め切りまでにその旨ご連絡ください。

#### **(6) 共通試料1について**

この度、共通試料1を1-1と1-2との2つに分けて配布することになりました関係上、アンケート時にご案内しました金額より増額させていただきました。精度の高い調査を実施するためにご理解賜りますようお願いいたします。

# 令和3年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込書

(民間、大学、独立行政法人等向け)

機関名			
機関コード	(お分かりでしたらご記入ください)		
所在地	〒		
試料の送付先	〒 (上記所在地と試料の送付先が異なる場合)		
担当者	所属	TEL: ( )	—
	氏名	FAX: ( )	—
希望する試料、結果の報告方法について (数字、あるいは分析結果報告の方法を○で囲んでください)	1. 共通試料 1 (ウェブサイト、用紙) (注1) (模擬排水試料：一般項目等分析用)		
	共通試料 1-1 (注2) (COD、BOD、TOC分析用)	N-アリルチオ尿素 (注2) (BODにおける硝化抑制用)	共通試料 1-2 (注2) (全リン、ふっ素、ほう素分析用)
	(1) 要 (2) 不要	(1) 要 (2) 不要	(1) 要 (2) 不要
	2. 共通試料 2 (ウェブサイト、用紙) (注1) (模擬水質試料：ノニルフェノール、LAS分析用)		
3. 共通試料 3 (ウェブサイト、用紙) (注1) (模擬大気試料 (模擬PM2.5粒子)：無機元素分析用)			

(注1) 分析結果報告の方法 (ウェブサイト、用紙) を○で囲んでいない場合は、ウェブサイトによる報告となりますので、ご了承ください。

(注2) 測定を実施しないなどの理由で送付を望まない場合は、(不要) を○で囲んでください。共通試料 1 を選択していて、(不要) を○で囲んでいない場合は、共通試料 1-1、N-アリルチオ尿素、共通試料 1-2 の 3 点をセットとして送付しますので、ご了承ください。

一般財団法人日本環境衛生センター 殿

令和3年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

令和3年 月 日

機関名

印